

---

# 2018年3月期 第3四半期 決算説明資料

---



2018年2月2日



本資料の如何なる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更されることがあります。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社は一切責任を負うものではありません。

## 1

## 用語の説明

用語	内容
PWB (Printed Wiring Board)	プリント配線板
SR (Solder Resist)	ソルダーレジスト (レジストインキ)
PKG (Package)	半導体パッケージ

## 2

## 当社グループの製品分野

分野	分類		性状	用途
PWB用 絶縁材料	リジッド	高機能品	液状	表層保護・絶縁用 SR材料
		汎用品		
	PKG		液状 ／ドライフィルム	
	フレキ		液状 ／ドライフィルム	
	ビルドアップ		液状 ／ドライフィルム	
その他 関連商材	その他		液状	マーキング・エッチング・めっき用材料 フラックス・溶剤等・導電性銀ペースト

## ③ 2018年3月期 第3四半期 トピックス

1

**為替は想定レートより円安に推移**

※ (円・USD) 実勢レート：112円/想定レート:108円(2017年10月31日発表)

2

**販売数量はリジッド汎用品が減少 一方でDFとフレキは前年同期比で増加**

3

**通期連結業績予想を修正**

4

**太陽ファルマ 長期収載品 13 製品の承継を発表**

## 連結業績サマリ

単位：百万円

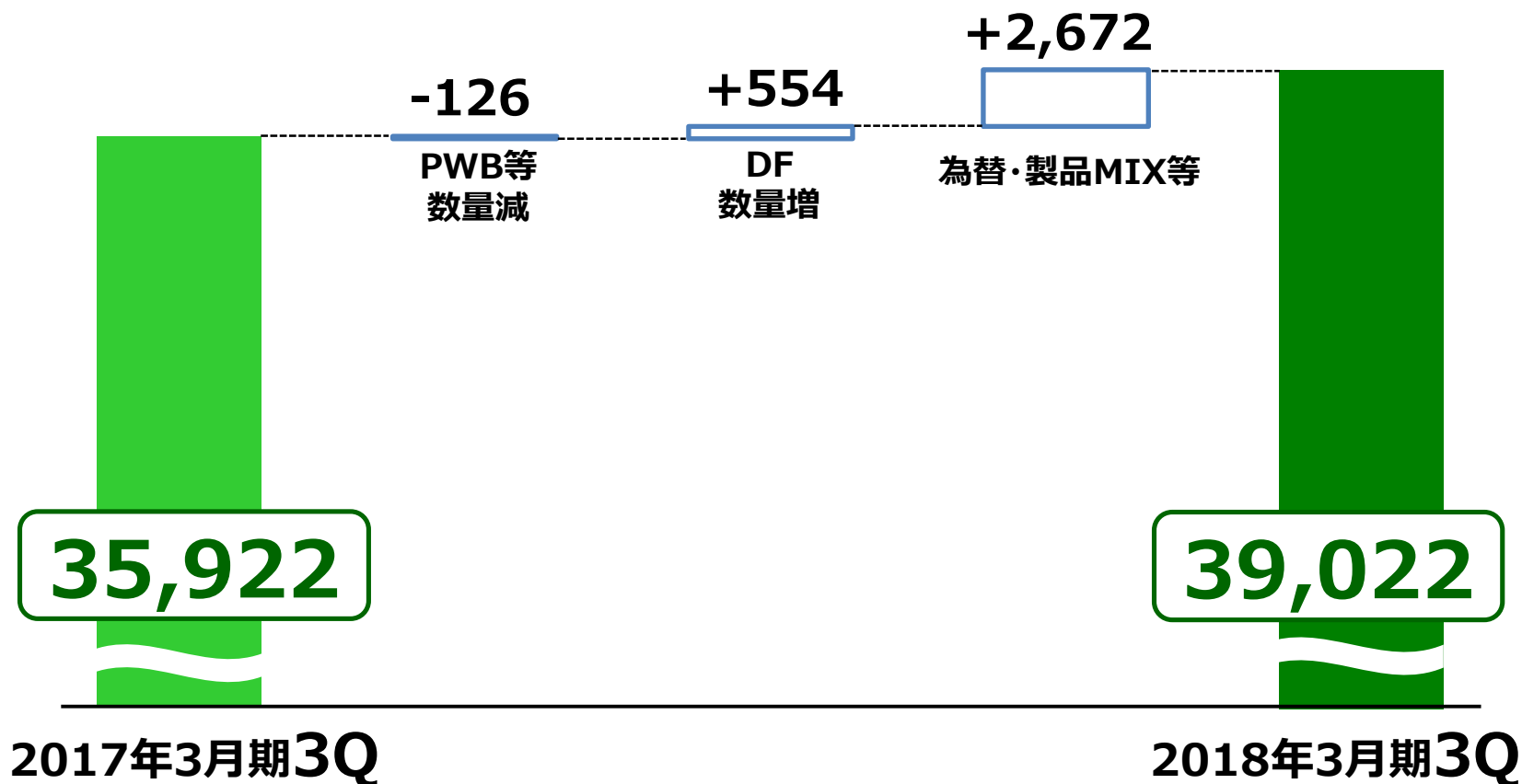
	2017年3月期 第3四半期 累計実績	2018年3月期 第3四半期 累計実績	前期比	増減率	2018年3月期 通期 今回発表予想	進捗率
売上高	35,922	<b>39,022</b>	+3,100	+9%	51,300	76%
営業利益	7,188	<b>8,699</b>	+1,511	+21%	10,800	81%
経常利益	7,302	<b>8,659</b>	+1,357	+19%	10,700	81%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	4,635	<b>6,160</b>	+1,525	+33%	7,600	81%
円・USDレート	108	112			111	

5

## 2018年3月期 第3四半期 売上高（前期比）

## 売上高前期比分析

単位：百万円

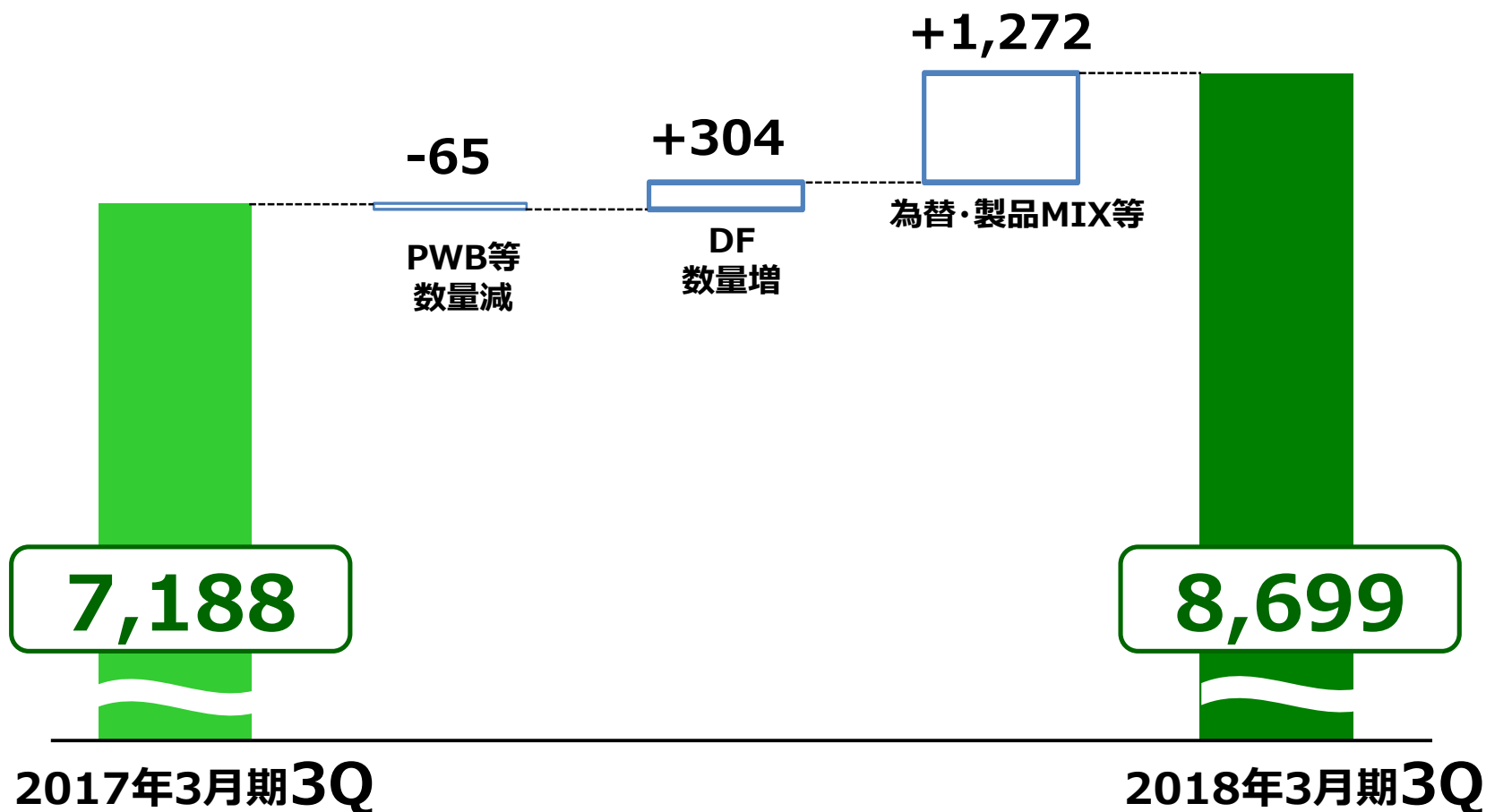


6

## 2018年3月期 第3四半期 営業利益（前期比）

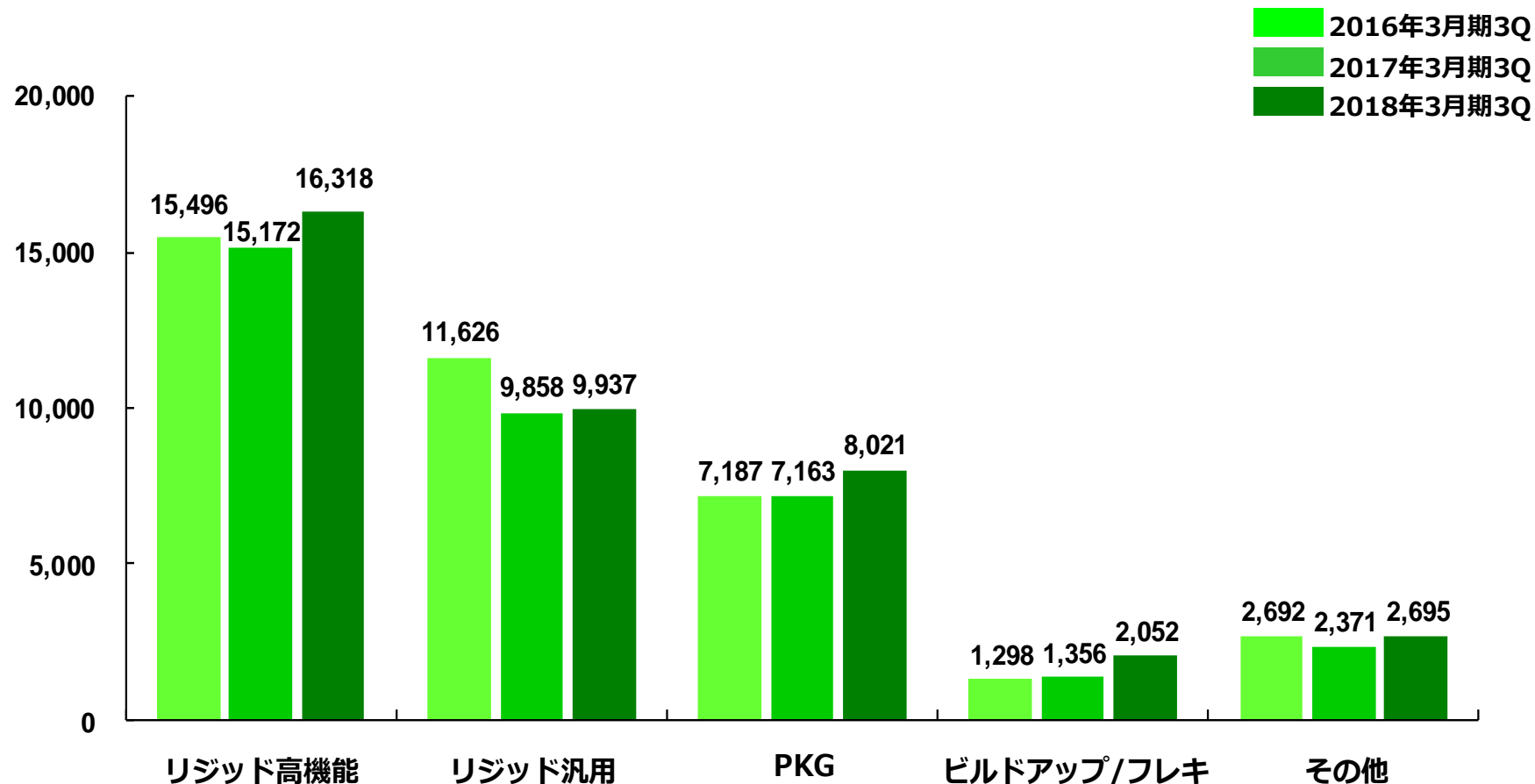
## 営業利益前期比分析

単位：百万円



## 製品区分別売上高

単位：百万円

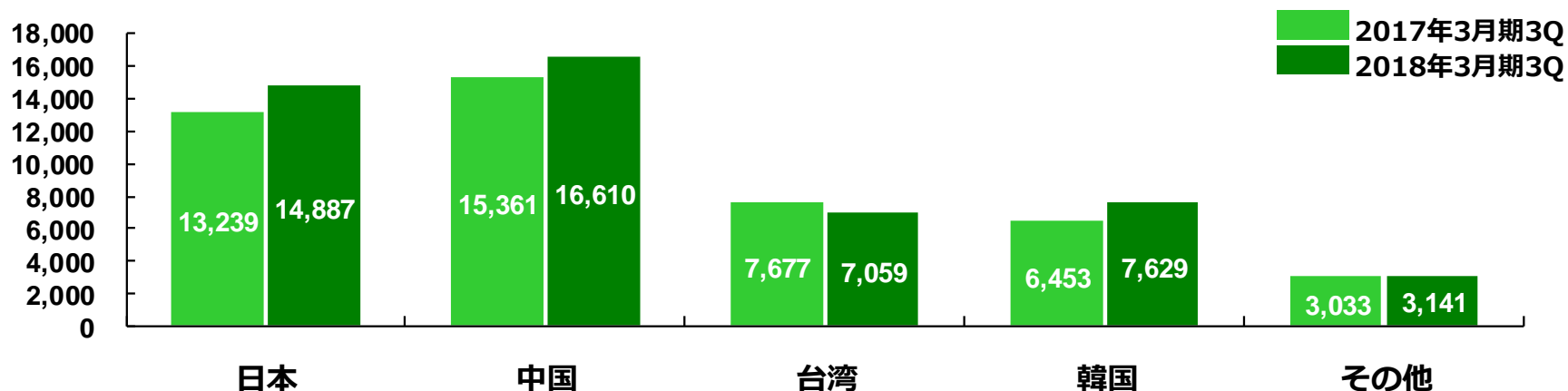


※決算短信・有価証券報告書等に記載の「製商品目別の販売実績」の分類と異なります。



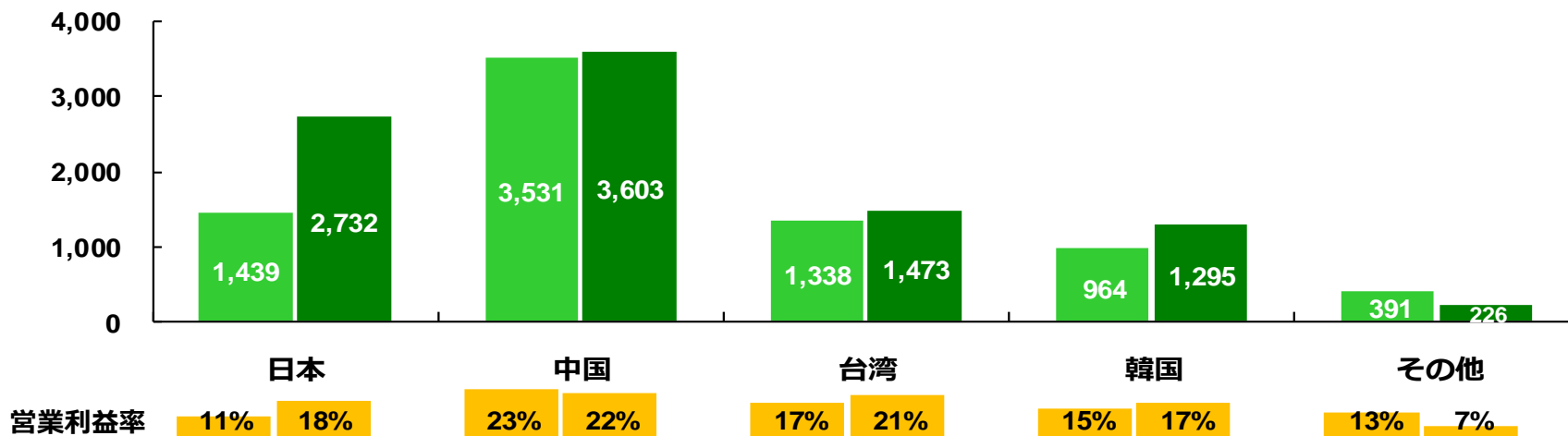
## セグメント別：売上高 (グループ内売上含む)

単位：百万円



## セグメント別：営業利益 (グループ内売上含む)

単位：百万円

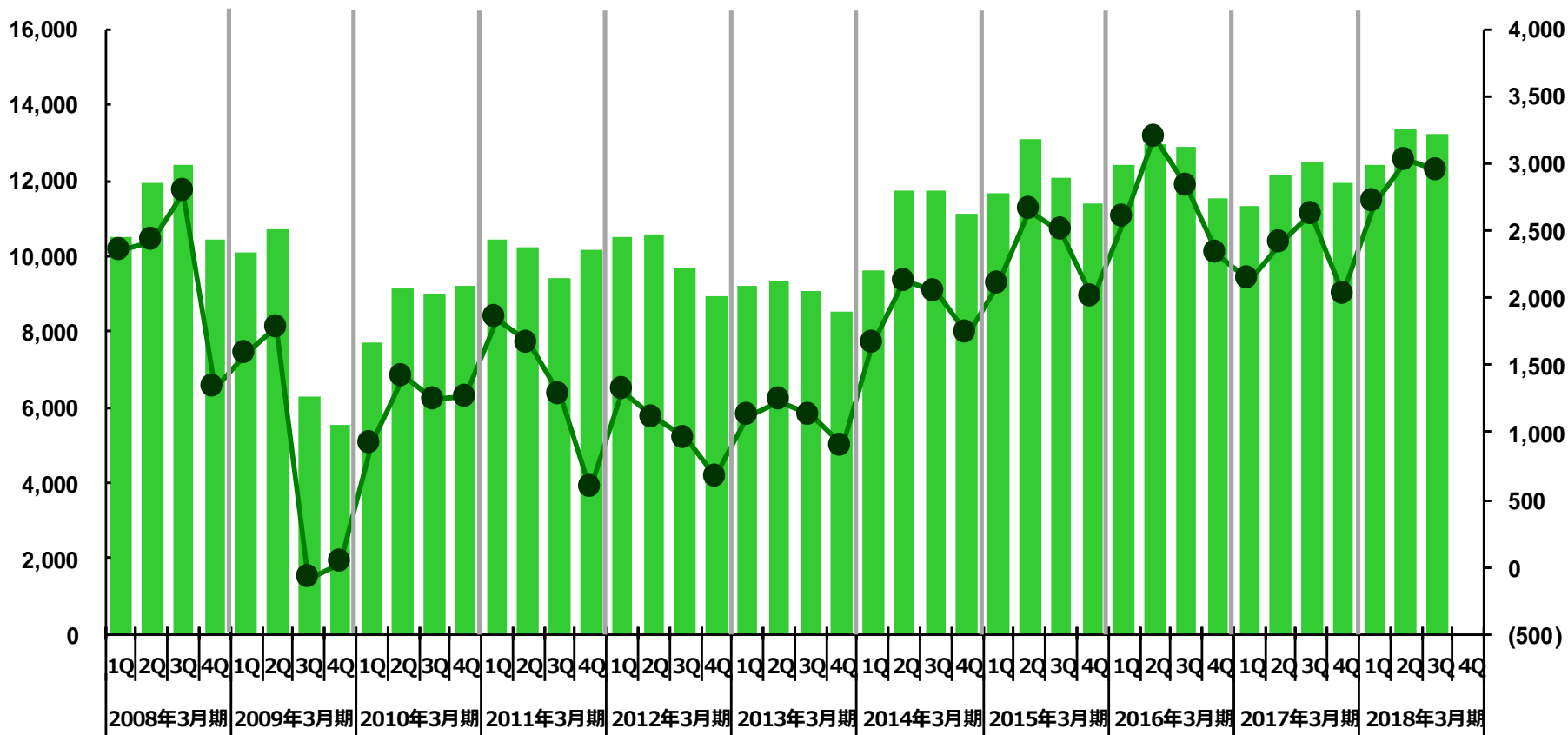


# 9 売上高・営業利益 四半期別推移

## 四半期別推移：売上高/営業利益

単位：百万円

■ 売上高（左軸）  
● 営業利益（右軸）



## 連結業績予想の修正

単位：百万円

	2018年3月期 第3四半期 累計実績	2018年3月期 通期 前回 発表予想	2018年3月期 通期 今回 発表予想	増減額	増減率
売上高	39,022	50,000	51,300	1,300	3%
営業利益	8,699	10,200	10,800	600	6%
経常利益	8,659	10,100	10,700	600	6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6,160	7,000	7,600	600	9%
円・USDレート	112	108	111		

当初計画より需要が上回ったこと及び為替レートが想定より円安で推移した結果、2017年10月31日発表の業績予想を上回る見通しとなり、通期連結業績予想を上記のとおり修正

# 医療・医薬品事業 への取り組み



**社名** 太陽ファルマ株式会社 / TAIYO Pharma Co., Ltd.

**設立** 2017年8月2日

**資本金** 4億5000万円

**代表者** 代表取締役会長 佐藤英志 代表取締役社長 有馬聖夫

**事業内容** 医療用医薬品・医療用医薬部外品 その他に関する開発・製造販売業務



# 13 新規事業（医療・医薬品事業の検討開始）

我々の置かれている環境、得意とする分野、今後の成長が期待できる業界などの要素から検討した結果、製薬事業が最も有力だと考えております。事業リスクを極力少なくした形で、医療・医薬品分野への参入を目指します。



## 参入手段

- 長期収載品承継
- 企業買収
- 工場買収
- 自社工場

## 成長戦略

### 自社製品

---

- ・ 創薬はやらない
- ・ 長期収載品の収益改善
- ・ 長期収載品追加承継
- ・ オーソライズドジェネリック(含抗体)
- ・ スーパージェネリック

### 海外生産

---

- ・ 自社品のローコストオペレーション
- ・ 技術プラットフォームを利用した受託
- ・ アウトイン受託工場

この度、太陽ファルマは、長期収載品 13 製品を承継いたしました。

当社グループは、長期にわたって使用実績のある、社会的に重要な医薬品を安定的に患者様に届けます。医薬品の製造販売業を行うものとして、事業活動の総合的信頼性を確保し、承継品のブランドを守り、患者様、医療に従事する方々に継続して製品と情報を提供いたします。

## 承継までのスケジュール

2017年11月14日 長期収載品承継契約書合意

---

2018年1月5日 長期収載品 13 製品の資産譲渡実行

---

2018年4月～12月 製造販売承認等は順次移管予定

---





NEXT STAGE - 新たな展開へ -

明日の地球に出来ること  
For Tomorrow